

講義名	空間市場分析特論			授業形態	
担当教員	三谷 哲雄	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	

主 題 と 概 要
■注意■ ※PDFでは全ての内容が表示されない場合があります。内容は、必ずRYUKA Portalから参照できるシラバページで確認してください。 ※「備考」を必ず確認してください。 ■備考■ 本科目は、「地域情報解析」というテーマを扱う。ここでは、様々な社会、経済活動の営まれている空間を形成している地域の評価のために、地域情報解析手法について概観するとともに、実際の地域データを用いた簡単な地域分析演習を通して地域解析能力を養う。

到達目標
受講生は、本科目で取り扱う上記のテーマに関して理解を深め、空間市場に対する自らの意見を提案できるようになる。

提出課題
毎回の授業で指示される宿題の実行を課題として課す。また、宿題の内容によっては、次の授業時にその結果の報告を課題として課す。そして、最終的に、本科目で紹介した解析ツールと地域データを使って地域情報解析を行い、その結果を課題レポートとしてまとめ、提出し、授業中にその内容を報告することを、課題として課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
教員から指示がある。

評価の基準
授業参加度と課題レポート評価の合計で採点される。成績は、授業参加度に30%、課題レポートに70%の配分となる。課題レポートにより達成度を評価する。

履修にあたっての注意・助言他
絶対に、遅刻、欠席をしないように注意してください。

教科書
・ 使用しない。
参考図書
・ なし。

その他
教員から適宜、指示がある。

授業計画
★注意★ 授業では、データファイルを配布しますので、USBメモリを準備しておいてください。 授業ならびに演習課題の中でWindows用デスクトップ版Excel(日本語版)を利用します。 利用できる環境を要しておいてください。 環境がない場合は、学内のPC演習室等を利用してください。 講義資料の配布は、第01回授業の1週間ほど前を予定 [] 内は標準的な学習時間 ～～～：イントロダクション (01) 講義概要の説明と解析演習の内容の説明ならびに解析ツールの実演 予習【1時間程度】：講義資料の入手や印刷などの受講準備、講義資料で講義内容の事前確認 復習【3時間程度】：講義資料で講義概要や解析演習の内容、解析ツールの概要の再確認 ～～～：解析ツールの使い方の解説と操作練習 (02) 解析ツールの使い方の解説と操作練習（その1） 予習【1時間程度】：講義資料で解析ツールの使い方（資料2の要点要約資料1）の事前確認 復習【3時間程度】：授業中に生成した演習用データファイルを使って解説箇所の操作方法を練習 ～～～：解析ツールの使い方の解説と操作練習（その2） (03) 解析ツールの使い方の解説と操作練習（その2） 予習【1時間程度】：講義資料で解析ツールの使い方（資料2の要点要約資料1）の事前確認 復習【3時間程度】：授業中に生成した演習用データファイルを使って解説箇所の操作方法を練習 (04) 解析ツールの使い方の解説と操作練習（その3） 予習【1時間程度】：講義資料で解析ツールの使い方（資料2の要点要約資料1）の事前確認 復習【3時間程度】：授業中に生成した演習用データファイルを使って解説箇所の操作方法を練習 ～～～：演習に使う地域データの解説 (05) 演習に使う地域データの解説（その1） 予習【1時間程度】：講義資料や演習用データファイルで地域データ（②日本）の事前確認 復習【3時間程度】：解析ツールを使って授業で解説された地域データを用いた主題図の作成練習 (06) 演習に使う地域データの解説（その2） 予習【1時間程度】：講義資料や演習用データファイルで地域データ（①淡路島）の事前確認 復習【3時間程度】：解析ツールを使って授業で解説された地域データを用いた主題図の作成練習 (07) 演習に使う地域データの解説（その3） 予習【1時間程度】：講義資料や演習用データファイルで地域データ（③警署署）の事前確認 復習【3時間程度】：解析ツールを使って授業で解説された地域データを用いた主題図の作成練習 ～～～：演習課題のレポート作成に向けた演習作業 (08) 演習課題のレポート作成に向けた演習作業（その1） 予習【2時間程度】：これまでの事例などを参考に自分の解析テーマを検討 復習【2時間程度】：採点での指導内容を踏まえて自分の解析テーマの再検討 (09) 演習課題のレポート作成に向けた演習作業（その2） 予習【2時間程度】：解析ツールを使って自分の解析テーマに関する主題図を作成 復習【2時間程度】：授業での指導内容を踏まえて自分の解析テーマに関する主題図を再作成 (10) 演習課題のレポート作成に向けた演習作業（その3） 予習【2時間程度】：レポートの下書き（初稿）の作成 復習【2時間程度】：授業での指導内容を踏まえてレポートの下書きの修正 (11) 演習課題のレポート作成に向けた演習作業（その4）

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
☐	キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
PCを用いた演習が中心となる。			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
卒業認定・学位授与の方針（DP:ディプロマ・ポリシー）に示されている要件に対する当該授業科目の寄与の程度を行頭の[]内に4段階（0～3）に分けて記載する。各段階の意味は、教務部の指示に従った。 [3] 1 理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的方法論を身につけていること。 [1] 2 研究者として、流通科学諸分野における豊かな学識と研究能力を身につけていること、または高度専門職人として、より実践的・課題解決的な能力を身につけていること。 [0] 3 特定の流通科学分野において、専門的な研究を行い、修士論文あるいは課題研究の成果を完成させていること。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
PCを用いた演習が中心となる。

実務経験の有無及び活用

備考
■受講上のアドバイス■ (1) 講義に関する情報はRYUKA PortalのMy時間割やキャンパス クロス(RYUKA Portalからもアクセス可能)で確認すること。 ※城之内の持ちこたへの連絡（講義に関する案内、講義資料の配布、レポート課題の指示など）は、授業中だけでなく、適宜、RYUKA Portalやキャンパス クロスでも行います。講義資料の配布ページには、掲載期間があります。掲載期限を過ぎたら、閲覧やファイルのダウンロードができなくなります。連絡を受けたら速やかにダウンロードし、自分のPCやスマホなどの端末に必ず保存してください。レポート課題には、提出期限があります。また、レポートを提出した後は、その提出状況を必ず確認してください。 (2) 講義資料